

一般質問 議：議員／理：理事者

● 教育会館、中央公園の改修に向けた展望や戦略について

その他の質問

- ・ 移住希望者へのPR について
- ・ フルデマンドバスの利便性について
- ・ 防災や福祉を担っていく、まちづくり会館のあり方について



浦上雄次 議員



議 市は「勝山市役所周辺施設ファシリティアネジメント」として教育会館、中央公園の改修計画を進めているが、展望や戦略について市の見解を伺う。

理 市の人口減少が進む中、人口規模に見合った公共施設の最適化を進めている。教育会館は市の中心市街地に位置し、中央公園や勝山サンプラザ、図書館など周辺施設と連携しやすい立地であるため、将来の都市構想を描くためにも重要な場所となる。教育会館には、全天候型の子どもの遊び場や子育て支援センター、児童の預かり機能を整備することで、相談窓口であるこども家庭センターと一体的な支援を行い、子育て世代が利用しやすい環境を構築する。またフリースペースの設置や、勝山まちづくり会館があることで子どもから高齢者まで利用できる場となり、多世代の交流活動が楽しめる施設になると期待している。

中央公園のリニューアルについては、中心市街地の賑わい創出を目的に、多くの世代が集う市民の憩いの場となるよう整備していきたい。具体的には、樹木の伐採や生垣の撤去によりオープンな公園とし、約40台程度の駐車場を設置したいと考えている。また、隣接するサンプラザや教育会館と連携し、施設全体の利便性と魅力向上を図りたい。

改修費用は教育会館が約4億6,000万円、中央公園が約2億4,800万円である。国の都市構造再編集支援事業で約2億7,400万円、県のこどもの遊び場整備事業で約1億円の補助金を見込むほか、利用可能な補助制度を活用することで、最大限市の財源負担の軽減に努めていく。市民の意見をお聞きしながら、令和9年度の供用開始に向け整備を進めていく。

一般質問 議：議員／理：理事者

● 地方への流れを生む「二地域居住」促進について ● 「重点支援地方交付金」の使途について

その他の質問

- ・ 水上新市長に選挙結果の受け止めと、そして公約の実現の取り組みと今後の市政運営について
- ・ 子宮頸がんワクチンの「定期接種」と「キャッチアップ接種」の期間延長について
- ・ トイレカーとシャワーカーの導入について



新風会・公明 安岡孝一 議員



議 都市と地方などに生活拠点を持つ「二地域居住」を促進する制度創設を盛り込んだ改正広域的地域活性化基盤整備法が一部改正され、11月1日施行された。希望する人が二地域居住を始めやすくなるよう市町村が促進計画を策定できる仕組みを新設し、住居や職場環境の整備に対して財政支援を行うことが柱となっている。若者や子育て世帯を中心に、地方への人の流れを創り拡大し、地域の活性化を図るのが狙いである。新たに施行された改正広域的地域活性化基盤整備法を活用して勝山市への移住・定住の促進を図ることを検討してはどうか。市の所見を伺う。

理 今回の法改正は新たな生活スタイルに対応するもので、地方創生に大きな追い風となる。市では子育て世代の負担軽減策を推進しており、今後も先進的な施策を展開し、出産・子育て世代に選ばれるまちを目指す。県や関係機関と連携し、二地域居住をきっかけに移住定住の促進につなげていく。

議 物価高を上回る賃上げの流れをつくり、生活者の暮らしを豊かにするため、政府は事業規模39兆円程度の総合経済対策を決めた。この経済対策には、自治体が独自の物価高対策に使える「重点支援地方交付金」の一層の追加がされている。物価高の影響を受けているのは一部の方だけでなく全世代がその影響を受けている。この「重点支援地方交付金」を全世代への物価高対策となるよう検討いただきたいと考えるが、市の所見を伺う。

理 交付金の額は未定であり、現時点で活用方法は決まっていないが、幅広い世代に必要な支援を柔軟かつ効果的に進めていく。